

事業計画書

事業名	キミヒロック外伝 in the park
場所	沼津市 大規模公園（公共空間） 地内
実施予定期間	平成 30 年 4 月 2 日 ～ 平成 30 年 12 月 31 日
日程	実施項目・作業項目
	<p>平成 29 年度は、狩野川河川敷で開催を予定していたものの、同場所における工事の実施・他団体とのイベント開催日の関係により、7 月 15・16 日に「沼津文化交流祭」として中央公園での開催となりました。</p> <p>本事業は、市内の様々なジャンルのアマチュア音楽家等の活動発表会として開催しましたが、28 団体の出演者・30 業者による出店があり、本事業の趣旨である「多くの市民が音楽に触れる機会を創出し、音楽を媒体とした活発なコミュニティの形成」が図られたものと考えております。</p> <p>平成 30 年度は、引き続き同様の趣旨により「沼津文化交流祭」を開催するとともに、新しく夏の風物詩である「盆踊り大会」を盛り込んだ内容としていきたいと考えています。</p> <p>現状の課題としては、10 月 28 日の活動発表会で指摘された「周知方法」のほか、「運営費用」の 2 点となりますが、周知方法については改めて検討し、広く多くの市民が参画できるように調整していく予定です。</p> <p>また、運営費用については、平成 29 年度は初年度ということもあり、スタジオ設置費用をはじめ多額の費用負担が生じたものの、次年度はこれらの縮減が見込まれること、投げ銭制による来場者からの資金確保の実績から、昨年度以上の資金調達は可能であると考えています。</p> <p>開催予定日 平成 30 年 7 月を予定。</p> <p>場 所 沼津中央公園は、同様のイベントが多く実施されていることから、この他の高沢公園・門池公園等の大規模な公園での実施を視野にいれていく予定 (近隣自治会・企業・学校・福祉施設と連携して実施するためこれらの主体の参画・理解協力が得られる場所で実施)</p> <p>スケジュール</p> <p>4 月 開催場所の検討・出演者募集開始 インターネット募集・関連する演奏家等への呼びかけ</p> <p>5 月 スタッフ決定・チラシ作製・配布（自治会等への周知を徹底）</p> <p>6 月 スタッフ指導 転換リハーサル・出演者の技術指導等（演奏リハ）</p> <p>7 月 イベント開催・参加者アンケート等による検証</p>
事業効果	<p>本事業は、市内の公園（公共空間）の新しい活用方法として音楽イベントを開催することで、音楽を通じた賑わいの場やコミュニティの創出を進めていくことを目的としている。</p> <p>また、これまでのイベントコンテンツとして、実施されていない「盆踊り」イベントを新たに追加し、市民ニーズに沿ったイベントを開催していきます。</p> <p>平成 29 年度の課題である周知方法等については、地縁団体（自治会）等を中心に取り組んで行く。イベント集客数 2,000～3,000 人程度を見込む</p>

<p>公益性</p>	<p>市内には、演奏家が使用できるスタジオが少なく、かつてのように音楽活動に取り組む人口が減少傾向にあります。</p> <p>そのため、初心者からプロの演奏家が一同に演奏できる場を、市内公園（公共空間）で行うことにより、演奏家と市民の音楽意識の高揚を図ることが可能であり、「中央公園」の活用は、まちづくりファンドの重点支援事項にも合致しており、公共空間の有効活用という視点にも合致するものと考えます。</p> <p>また、中心市街地のイベントコンテンツとして、事例がない「盆踊り」を実施することにより、幅広い市民ニーズに対応していくことが可能である。</p>
<p>発展性</p>	<p>これまで、室内で実施していた公演を屋外で行うことにより、多くの市民に活動を認知してもらうことが可能であり、同じ志を持つ市民の参画が想定されます。</p> <p>また、同イベントを継続的に開催していくことで、多くの市民を巻き込み、音楽を媒体としたまちづくりの活性化が見込まれます。</p>
<p>地域性</p>	<p>出演者については、地元に住んでいる音楽教室の生徒、静岡県東部を拠点として活動している演奏家を主体に構成していくため、顔なじみの出演者によるイベントを開催できることから、地元の方が参加しやすい環境を構築することができます。</p> <p>また、当該地域に近い自治会・企業・学校・福祉施設については、積極的に周知を行い運営側にも参画していただくことにより、地域住民主体のイベントに展開していきたい。</p>
<p>必要性</p>	<p>公益性の記載事項と重複するが、市内には演奏家が使用できるスタジオが少なく、かつてのように音楽活動に取り組む人口が減少傾向にあります。</p> <p>同イベントの開催により、演奏家同志の新たな繋がりや、市民と演奏家の繋がりやの場を作ることが可能となり、音楽人口の拡大のみではなく、音楽を媒体としたまちの活性化を図ることが可能です。</p>
<p>先導性</p>	<p>通常の音楽イベントは、プロ若しくはセミプロの演奏家による開催が主体であるが、地元の音楽教室の生徒の活動発表の場、公共の場に設定することにより、これをきっかけとした新たな演奏家の育成が可能ではないかと考えます。</p> <p>また、音楽教室の生徒の活動発表を同時に行うことにより、生徒の両親・祖父母など、これまで音楽イベントに参加することがなかった方の参加が見込まれ、「中央公園」に人が集まるきっかけを作ることができるのではないかと考えます。</p>
<p>継続性</p>	<p>平成 29 年度は、予想していた以上に資機材・スタッフの確保に費用が嵩んだものの、平成 30 年度についてが、資機材の調達費用の大幅な縮減が見込まれます。</p> <p>また、試験的に実施した投げ銭制により参加者から 30 万円以上の運営費の協力を得られることができたため、次年度はこの財源を見込んだ運営ができるものと考えています。</p> <p>また、スタッフの確保については、同様のイベントを開催している他団体、自治会等に協力を依頼していくことも視野に入れていきます。</p>

◎特に高い公益性を有することの説明

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。

本事業は昨年度と同様に屋外での音楽イベントであるが、事業内容の拡大（盆踊りの新規実施・ステージの部の充実）により多くの団体の参加が見込まれることから、設営及び参加者の安全を確保するためのスタッフを集める必要があり、これらの人件費が嵩むことから、昨年度よりも補助金申請額が増加したものである。

本事業は、市内では数少ないアマチュアの演奏家を対象とした音楽イベントであるが、平成 29 年度は、演奏家からの参加希望が多かったこと、イベント開催後の評判が良好であったことなどから、本事業を継続していくうえでの市民ニーズを確認することができたものと考えている。

来年度は、新たに一般市民の参加者を増やしていくため、近年開催が少なくなっている盆踊り大会を公園（公共空間）で開催していくこと、近隣自治会への周知を徹底していくことで、幅広い市民参画が図られるイベントとしていきたい。